



商標委員会（委員数 51名／担当：齊藤常務理事）

◆ 活動方針：

- 国内外の商標制度に関し意見発信、政策提言などを実施します
 - 産構審：商標制度小委員会、商標審査基準WG
 - 特許庁調査研究：AIPPI、商標審査業務効率化研究会、審判実務者研究会
 - パブコメ・要望書対応：中国、韓国、シンガポール
 - 会議派遣・意見交換：WIPOマドプロ作業部会、TM 5、弁理士会、JETRO
- 6つのワーキングに分かれ以下の調査研究テーマに取り組みます

WG	調査研究テーマ
1	商標実務における外部リソース（事務所・代理人）の活用
2	商標使用の管理手法の在り方
3	商標の国際登録制度（マドプロ）利用の企業実務
4	商標実務者のプレゼンス及びキャリアに関する検討
5	ロングセラー商品ブランドへの商標実務からのアプローチ
6	ブランドに関する社内研修と意識向上のための手法





商標委員会 WG1 (委員数 7名)

- ◆ テーマ名：商標実務における外部リソース（事務所・代理人）の活用
- ◆ 狙い
商標業務に関する外部リソース（内外代理人、調査会社等）の活用のあり方、それらに期待する役割について考察する。
- ◆ 内容の概略
外部リソースのどこに価値を見出し、何を基準に外部に依頼するのか、またどのような観点から外部リソースを選択しているのか等について、商標委員会内でアンケート調査を実施・整理したうえで、外部リソースの活用の仕方や傾向等を考察する。
- ◆ アウトプット&スケジュール
知財管理誌への投稿（2021年5月入稿予定）





商標委員会 WG2 (委員数 10名)

- ◆ テーマ名：商標使用の管理手法の在り方

- ◆ 狙い
商標を適切に保護するべく、より効率的・効果的な商標の使用及び管理手法を検討する。

- ◆ 内容の概略
商標委員会内でアンケートを実施し、各企業において行われている現状の商標の使用管理方法を分析し、より効率的・効果的な方法を検討する。

- ◆ アウトプット&スケジュール
東西部会における発表を念頭に、2021年3月までに資料を作成する。





商標委員会 WG3 (委員数 10名)

◆ テーマ名：商標の国際登録制度（マドプロ）利用の企業実務

◆ 狙い

各社の実務（利用の基準、対象国および指定商品・役務の選定方法、予納口座活用の有無など）やトラブル事例を研究することで、商標実務で留意すべき点を考察する。

◆ 内容の概略

費用面では優位性が高いと言われるマドプロの利用にあたり、注意すべき事項をとりまとめ、マドプロの賢い利用方法等を検討する。

◆ アウトプット&スケジュール

東西部会等での発表形式を念頭に、2021年3月までに資料を作成する。





商標委員会 WG4 (委員数 7名)

◆ テーマ名：商標実務者のプレゼンス及びキャリアに関する検討

◆ 狙い

社内・知的財産部署において、商標の重要性・経営貢献を示し、商標実務者のプレゼンスを上げるには、またそのためのスキル修得をどのようにすればよいか、AIの普及が商標実務者のキャリアに与える影響（必要とされるスキルや知識・経験）等を考察する。

◆ 内容の概略

今後の商標担当者の姿やキャリアを検討する際の参考とするため、事業部門と良好な関係を築けていると考えられる企業へのヒアリングや、AIを活用した特許事務所との意見交換を予定。今後とも関係する機関や団体へのヒアリングを行い、検討を進める。

◆ アウトプット&スケジュール

今年度中に資料作成し、東西部会等にて発表予定。
～世界から期待され、世界をリードするJIPA～



商標委員会 WG5 (委員数 7名)

◆ テーマ名：ロングセラー商品ブランドへの商標実務からのアプローチ

◆ 狙い

ロングセラー商品と商標業務との関わりにおいて、商標担当が、どのように貢献し関与できるのか、または、していくべきか。過去または実際の事例研究を踏まえ、検討を行い、会員企業に役立つノウハウの拡充、充実を図る。

◆ 内容の概略

ロングセラー商品と商標業務に係る①リブランド発生時の対応②模倣品・パロディ品対策③ロングセラー商品ブランドの育成手法について、過去論説、文献、または商標委員会員の自社事例などから検討を行う。

◆ アウトプット&スケジュール

東西部会等における発表形式で検討（詳細は未定）





商標委員会 WG6 (委員数 9名)

◆ テーマ名：ブランドに関する社内研修と意識向上のための手法

◆ 狙い

ブランド施策に関わる各部門に対して、商標部門として広く啓発活動をする際の適切な方法やツールを検討し、ブランド施策に貢献する。

◆ 内容の概略

知財担当者に社内研修等に関するアンケートやインタビューを実施し、それを元に商標実務担当者に有益な資料としてまとめることで、ブランド施策に資する資料を作成する。

◆ アウトプット&スケジュール：

今年度中に資料を完成し、東西部会にて発表予定。

